

月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第 63 号
令和 8 年 9 月 30 日発行
発行者 校長 黒島 敏

前号でも書いたとおり、月 2 回の発行を目指している「月高だより」ですが、今月は滑り込みで、達成できそうです。
先月は、豊平区の中学校を Z 先生と一緒にいくつか訪ね、「月寒高校ってどんな学校？どんな印象？」って聞いてみました。
帰ってきた多くの答えは……「……頭の良い学校？」というものでした。。。。さて在校生の皆さんは「月高ってどんな学校？」と聞かれたら、なんと答えますか？

■ HTB で on ちゃん見た

北海道大学が創基 150 周年ということで、様々な記念事業が行われています。9 月 27 日(日)に、「北大病院健康マルシェ」という北大病院が市民向けに行ったイベントに、本校 1 年生の 3 名が招かれました。

タイトルは『ゲノムと予防医療でかなえる Well-being- 探究学習を開始して 北大病院パーソナルヘルスセンター×月寒高校』です。

3 名の 1 年生は探究の授業で北大病院の講座を選択しており、今までの学習の途中経過などを発表しました。私も生徒の発表の講評をする、ということで、会場である HTB の on ちゃんテラスへお邪魔しました。

探究といえば、我々高校側は、相手先のご厚意に頼り、色々とお迷惑をかけている立場です。しかし、北大病院のドクターを始め、スタッフの皆さんは、高校生が学ぶ目的で北大病院を訪ねることをとても嬉しく思っているようで、校長としてちょっとほっとすると共に大変嬉しく思いました。

肝心の 1 年生の発表は、まだ途中経過ということもあり荒削りなものでしたが、今後に向けて期待のできる内容でしたよ。見に来てくれていた、豊平区選出の大越道議をはじめ、色々な方からお褒めの言葉も頂きましたし。

ところで、HTB といえば on ちゃん。当日は本人（？ 着ぐるみと言ったら怒られそう・・・）も会場に現れ、本校の生徒も記念撮影をしていました。ちなみに彼は北大卒。今回の一連の記念事業を機に北大大学院生になったそうです。（入試受けたかどうかは不明）月高の北大志望者も on ちゃんの後輩になれるよう頑張ってください。

■ Well-being

「予防医療でかなえる Well-being」のお話を北大病院のドクターから伺う中で、「よばよばになって平均寿命まで生きるよりも健康年齢を延ばすのが Well-being」ということだと理解しました。確かに高齢者の医療費は年々増大の一途ですから、国の財政的にも深刻。

一方で、我々教育界で最近よく使われるウェルビーイング（幸福）とは、目先の一時の幸せ（ハピネス）ではなく、人生における生きる喜び（すなわち生きがい、やりがい）のことを指します。

地位と名誉と財産を手に入れ、FIRE（20 代で資産を形成して悠々自適の生活に入ること）することが幸せの全てなのではなくて、「善く生きる」ことが大事という考え方です。

高級車じゃなくても車は目的地に着くし、豪邸じゃなくても雨風や暑さ寒さはしのげる。金持ちにも貧乏人にも時間は平等だし、健康は金では買えない。

自分にとっての「Well-being」ってなんなのか？ 答えはそれぞれで考えましょう。

■ 同窓会懇親会

9 月 26 日(土)にライフォートホテルにおいて、本校同窓会の大懇親会が開かれました。冒頭、野球部の生徒が 2 名、会場の 50～60 名近くいる先輩方に向けて、部室のお礼と今後の支援などを話してくれました。堂々としたあいさつで、会場にいる諸先輩方はまるで、孫？を見るような温かい目で、見守っていたのが印象的でした。

やっぱり、我々のようなオヤジが頼むよりも、実際の生徒達のパワーの方が強力です。

近くに座られていた方は、埼玉から、その他にも遠くからわざわざ参加された方もいたようで、さすが月高の同窓会と思いました。が、同窓会長の隣で話を聞くと、最近若い世代の同窓会離れが止まらないとのこと。

私も 50 を過ぎてから人生を振り返る機会が増えました。今は個人情報保護の観点から名簿とかが作りにくい時代です。名簿のつながりではなくて個人のつながりを大事にして、卒業後に同窓会に貢献してほしいですね。

■ あとがき

、9 月 28 日(月)の後期始業式の校長講話で、悪質なデマの話をする中で「ノストラダムスの大予言」の話をしました。私と同年代の先生方は反応してくれましたが、生徒はポカーンとしていました。2010 年生まれの子に「1999 年に地球が滅びる」と言ってもね……。

何でそんな話をしようと思ったかという、連休中に道立帯広美術館で「さくらももこ展」を見てきたからです。彼女は『ちびまる子ちゃん』の作者で、主人公のまる子のモデルでもあります。実際にテレビアニメもマンガも見ていましたが、さくらももこは昭和 40 年生まれで私と同年代であるので、エピソードの一つ一つが「あ～あるある」と思わずにやっとなことばかりでした。

美術館の展示なんて、30 分も見れば満足するかと思いきや、たっぶり 2 時間以上も滞在してしまいました。そのちびまる子ちゃんのエピソードの中に、「ノストラダムスの大予言」があります。予言を信じたまる子は「どうせ地球が滅びるんだから勉強しない」と公言し、家族をあきれさせるのですが……。結局お姉ちゃんに「もし予言がはずれたら、アンタただのバカな大人になるよ。」と言われ、改心する、という話です。

想像できないかもしれませんが、当時はみんな五島 勉の『ノストラダムスの大予言』『続……』『続々……』を持っていて、本気で信じている友達もいましたね～。中学校の英語の先生はわざわざ授業中に朗読し、我々の不安をあおっていました。今考えると何をやってるんだか……。11 月 23 日(月)まで「さくらももこ展」は開催しています。北海道は帯広が最後なんだそうです。興味のある方は行ってみてください。